

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会
第 21 号 2008 年 4 月

ほたるの里の昨日と今日

ほたるの里づくり実行委員会会長 加藤 賢三

今年もわが八千代の誇れる「ほたるの里」に春がおとずれています。ツクシやメダカ、その他いろいろな生き物が見られます。新川の散歩のついでにでも訪ねてみませんか。

この里はおよそ 15 年前に市が購入して、12 年前に市民団体と市環境保全課がグラウンドワーク方式という、市民、企業、行政の協働による管理・運営を「みためし」として一年間行い、翌年に実行委員会を立ち上げて今年で 11 年目になります。

この実行委員会の会員はホタルメイトです。会費は年間 500 円です。団体および事業所は共に 2000 円となっています。部会には、企画部（各種のイベントの実施）、広報部会（里だよりの発行、パネル作成など）、管理部会（里内の維持・管理）があり、事務局は環境保全課に置かれています。これらの活動の年間経費（およそ 15 万円）はほとんどが会費収入によってまか

なわれています。

19 年度の活動で印象に残っているのは、八千代市ほたるの里の設立十周年にあたるタイムカプセルの开封イベントやヘイケボタルの里親のための学習会、ナイトウォッチング、里だよりの発行、里の整備などです。そして、設立後の 10 年を振り返ると、ほたるの里の案内パンフレットの作成、千葉県初となるホタルサミットの開催、2004 ちばホタルマップの作成などが印象に残っています。

20 年度の活動は、将来に向け水漏れを含めた里の補修など、里の生き物調査も行えればと思います。

ほたる里については生き物との共生、ビオトープなど大切な役割がありますが、とくに市民、企業、行政との協働による里づくりが特徴になっています。市民の皆さんに親しまれる里を目指して、市民一丸となって作り上げていく里なのだという思いを共有して行ければと願っています。

ほたるの里タイムカプセルイベント開催 メッセージ募集！

ほたるの里づくり実行委員会は、市民のボランティアの方々等の日々のご協力により昨年で 10 周年を迎えることができました。

そこで、ほたるの里に、10 年後の自分や家族、友達、大切な人などに宛てたメッセージを入れたタイムカプセルを埋めます。家族や友だちを誘って、ほたるの里で思い出づくりをしませんか？ 埋めたタイムカプセルは 10 年後に掘り起こします。たくさんのメッセージ、お待ちしております。

当日は、ヘイケボタルの幼虫の放流や里の環境整備も行います。

○申し込み方法：名刺サイズの用紙に、タイムカプセルに入れるメッセージ、氏名、住所、電話番号を記入のうえ、4 月 25 日（金）までに市役所環境保全課窓口まで持参、またはご郵送ください。当日、イベントに参加できない場合でも、メッセージをお預かりいたします。

○イベント日時：5 月 10 日（土）午前 9 時 30 分～ 直接ほたるの里へ

○場 所：ほたるの里

※当日は、汚れてもいい服装でお越しください。

生物多様性とホタル

生物多様性県民会議実行委員 桑波田 和子

今、地球温暖化防止が叫ばれ、私たちの暮らしを見直すなど、地球環境についてのニュースが毎日のように流れてきます。千葉県では、3月14日～16日まで、幕張メッセでG20（気候変動、クリーンエネルギー及び持続可能な開発に関する対話）が、開催されました。この気候変動に密接に関係のある生物について、千葉県は「生物多様性ちば県戦略」を策定しつつあります。

生物多様性(biodiversity)とは何でしょうか？ 県戦略によると、「身近な動植物から人間を含む、全ての生物・生命の営みとつながりを意味するものです。」
「生物多様性は保護だけを目的とするのではなく、本来は私たちの生活のニーズを充足するため、生産や流通などの経済活動と密接に関連するものであり、生物多様性の価値をきちんと理解し持続可能な利用を図ることが重要です。」とも記載されています。

地球誕生は今から約46億年前といわれています。数十億年に及ぶ長い進化の中で、大気や水、土壌の環境を整え、多種多様な生物を地球上に誕生させました。現在地球上の生物の種数は、およそ3千万種から1億種と推定され、人間により確認されているものは約175万種だそうです。国際的な理解や保護、利用に関する取り組みを示した生物多様性条約では、生物多様性とは「全ての生物の変異性とし、種内、種間、生態系の3つのレベルに区分される」として、「遺伝子(種内)から、種(種間)、生態系にいたるあらゆるレベルの生物の変異・変化を示す概念です。」とも記されています。

私たちにとって、生物多様性の価値と利用は、どのようなものでしょうか？ ちば県戦略では次のように整理されています。

- ・資源（食料・燃料、生活用品、農林水産物等）
- ・環境（大気、水、土壌、地形の安定等）
- ・精神（完成、安らぎ、進行、教育、文化芸能等）
- ・指標（生物指標、環境モニタリング等） ↗



里山シンポジウム 「里山と生物多様性」分科会

テーマ：「ホタルからみえるもの」～どうすれば、地域のホタルが残せるか～ 講師：大場信義氏

日時：4月26日（土） 午後1時～4時30分 問い合わせ：加藤 賢三 TEL(携帯)090-8568-1957

会場：千葉県立中央博物館、講堂

MAIL：kato-ken@jcom.home.ne.jp

参加費：300円（資料代）

※ホタルを通して、生物多様性を一緒に考えませんか？ ご参加ください。

このように、私たち人間と生物多様性とのかかわりを踏まえ、その保全・再生とともに持続可能な利用をはかっていかなければなりません。

一方、生物多様性及び生態系は、常に様々な自然的・人為的影響にさらされていて、現在の生物種の10～30%が、絶滅の危機に瀕していると、言われています。危機の原因としては、

- ・自然の破壊・生物の盗掘による。
- ・環境の汚染・外来生物の侵入による。
- ・遷移の進行・人為管理の衰退による。
- ・地球温暖化・異常気象による。

が挙げられます。

ここ、ほたるの里では「ホタルを次代の子どもたちへ残したい」「ホタルも人も輝く街へ」を、合言葉に、里づくりの活動を10年間続けてきています。市民・企業・行政とのグラウンドワーク方式による活動としては、県内でも古い歴史を持っています。10数年前の里の周りには、多くのヘイケボタルが飛び交っていたそうです。また、市内のあちらこちらで、このような情景が見られたと聞いています。ところが、土地利用の変化、開発などにより当たり前に見られたヘイケボタルの姿は、見られなくなりました。また、水辺空間が減少してしまい、カエルやトンボ、水生昆虫など、水辺の生きものが激減しています。里のそばには、「乳清水」が今でも湧き続けています。この清水を守っている方が、昔より湧水量が減っていること、台地（涵養地域）を保全しなければ、湧水は枯渇する等心配されていました。田んぼも畑も森も、そこで「生業（なりわい）」として成立しなければ、環境が劣化していきます。

今、私たちに来ることは何でしょうか？ 生物多様性ちば県戦略の理念は、「生命（いのち）のにぎわいとつながりを子どもたちの未来へ」です。生きものと人間との共生を目指し、持続可能な地球の存続を願い、地域の活動を通して地球レベルで考えていきましょう。

～きつずコーナー～

アメリカザリガニはどんな生き物？（最終回）

◇アメリカザリガニも困っているよ！

農薬をたくさんまかれると、ザリガニはみんな死んでしまいます。用水路をコンクリートで固めてしまうと、ザリガニは巣穴（すあな）が作れなくなるので生きていけません。ザリガニでなくても生き物は困りますよね。

◇アメリカザリガニで困ったことは？

アメリカザリガニはふえる力が強く、えさもたくさん食べるので、トンボやホタルの幼虫などいろいろな虫や貝や魚が少なくなったりします。また、水田の雑草を食べさせようと田んぼに放したら、イネまで食い荒らしました。田んぼのあぜにあなをあけたり、川のどてをくずしたりするので、人間が困ることもあります。

◇アメリカザリガニは食べられるの？

ニホンザリガニは薬や食用として食べられていたことがあります。ヨーロッパでもザリガニは食べられているようです。ウチダザリガニは15cmにもなり、食用として日本に持ちこまれました。どうやって食べたらいいのでしょうか。カラアゲ？ ゆでてサラダにする？

そこで、ほたるの里づくり実行委員会で、実際にアメリカザリガニを食べてみました。

参考資料・「ザリガニの博物誌」川上唯史 著「アメリカザリガニ」日高敏隆 監修（もり）

アメリカザリガニを食べてみました！

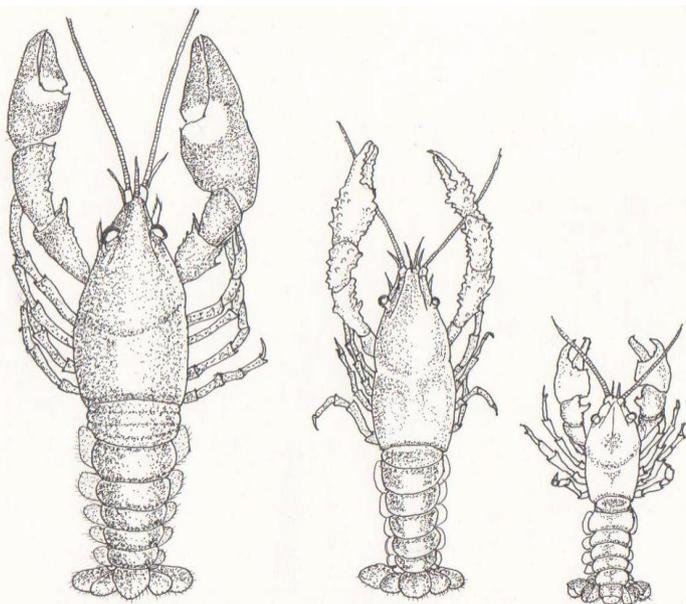
農薬を使用していない、きれいな水が流れるほたるの里で育ったザリガニを、期待と不安をいだきつつ食べてみました。変わった料理はしないで、シンプルにゆでました。

まず、釣ったザリガニを、1週間～2週間ほど、きれいな水に入れ、どろをはかせました。

どろをはかせたあと、ザリガニをなべに入れ、そこにお酒を入れたあと10分～15分つけ、くさみをとりました。

お酒をすて、なべに水と塩、さらにお酒を少し加え、ふつとうさせて5分、完成です。

食べた感想・・・お酒でくさみをとったことにより、においもなくおいしかったです。味はエビよりカニに近い味でした。さすが、高級料理としてヨーロッパで食べられているといわれるだけのことはありました。みんなは、ザリガニを食べてみたいときは、お母さんに相談してみてね！



ウチダザリガニ
体長：150mm
色：暗緑色

アメリカザリガニ
体長：120mm
色：赤色

ニホンザリガニ
体長：70mm
色：茶褐色



おいしくいただきました☆彡

20年度のスケジュール

総 会

4 / 5 (土)	10:00~12:00
-----------	-------------

ナイトウォッチング

7 / 5 (土)	19:00~20:30
-----------	-------------

見学会

8 / 18 (月)	8:30~17:00
------------	------------

学習会

10 / 18 (土)	10:00~12:00
-------------	-------------

タイムカプセルイベント

5 / 10 (土)	9:30~11:30
------------	------------

環境整備

5 / 10 (土)	9:30~11:30
6 / 21 (土)	10:00~12:00
7 / 26 (土)	9:00~11:00
8 / 30 (土)	9:00~11:00
9 / 27 (土)	10:00~12:00
11 / 15 (土)	10:00~12:00
3 / 7 (土)	10:00~12:00

ザリガニ釣り大会

8 / 30 (土)	9:00~11:00
------------	------------

作品展

6 / 5 (木)~12 (木)	イトーヨーカドー八千代店2階
6 / 17 (火)~24 (火)	イオン緑が丘店2階ローズ広場



ほたるの里作品展作品募集

昨年、ご好評をいただいた、ほたるの里作品展を今年も開催いたします。ホタルへの思い、ホタルを取り巻く環境、里で出会った生きもの、里の好きなところ、将来の里への夢など、あなたの思いを込めた作品をお寄せください。

■ 同時に谷津・里山作品展も行います ■

- テーマ：あなたが思うホタル・ほたるの里
- 募集内容：写真はキャビネ〜4つ切り、
絵画はハガキ大〜F6程度、書は半切程度、和歌・俳句
- 募集期間：平成20年5月20日(火)〜5月30日(金)まで。台紙に張り付けるか額に入れ、吊り下げ可能な状態にしてお持ちください。
- 提出先：八千代市環境保全課
- *展示について*
- 展示期間：①平成20年6月5日(木)から12日(木)
②平成20年6月17日(火)から24日(火)
- 展示場所：①イトーヨーカドー八千代店2F
②イオン緑が丘店2Fローズ広場
- 表彰方法：展示期間中、ご来場頂いた方に投票をお願いします。上位入賞者にはほたるの里づくり実行委員会より、表彰させていただきます。

3月1日(土) 野鳥・野草観察会の報告

ほたるの里の環境整備作業に併せて野鳥・野草観察会を行いました。ほたるの里および周辺のゴミ拾いをした後、自然観察指導員の田中英男さん、森繁さんを講師に、ほたるの里から新川べりにかけて観察しました。天気もよく、野鳥はチョウゲンボウ、カワラヒワなど17、18種、野草はヒメオドリコソウ、タネツケバナなどの開花が見られました。(管理部 赤間)

ホタルメイトになりませんか？

年会費	個人	500円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

ホタルメイトで会費未納の方は、市環境保全課窓口、イベントまたは里整備時に受け付けている他、お近くの郵便局でも郵便振替で納入していただくことができます。

郵便局でお振込の場合

振替手数料 ATM: 80円 窓口: 120円
 払込先: 八千代市ほたるの里づくり実行委員会
 口座番号: 00150-7-670156

【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5
 八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課 内
 Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyou2@city.yachiyo.chiba.jp

【編集】

広報部会 事務局